

平成30年度 事業計画について

1-1 文化財の発掘調査及び普及啓発事業(公益目的事業)

(1) 一般調査受託事業

番号	継続 又は 新規	事業名 (市町村名)	委託者	金額 (消費税を除く)(円)	事業内容
1	新規	首都圏中央連絡自動車道建設 (大栄～横芝)に伴う埋蔵文化財 発掘調査ほか(成田市ほか)	国土交通省 関東地方整備局	559,872,000	確認調査、本調査、整理、報告書刊行
2	新規	平成30年度東京外かく環状道路 (市川区間)埋蔵文化財発掘調査 (市川市)	東日本高速道路 株式会社	6,279,000	確認調査、整理、報告書刊行
3	新規 継続	平成30年度新市街地区にお ける埋蔵文化財調査ほか (流山市ほか)	独立行政法人 都市再生機構	101,399,000	確認調査、本調査、整理、報告書刊行
		合計		667,550,000	

(2) 発掘支援受託事業

番号	継続 又は 新規	事業名 (市町村名)	委託者	金額 (消費税を除く)(円)	事業内容
1	新規	未定	千葉県	462,000,000	千葉県が実施する埋蔵文化財調査に係る支援業務

(3) 普及事業等

番号	事項	内容	備考
1	遺跡見学会	発掘調査の成果を広く一般県民や児童・生徒に公開して、発掘調査の意義や埋蔵文化財への理解と関心を深める一助とするため、調査現場での遺跡見学会を年2回ほど開催する。調査の内容によって開催回数の変更もある。	
2	出土遺物公開事業	『千葉寺地区の遺跡展』(仮称)と題した展示会を開催する。 千葉寺地区の遺跡群から出土した考古資料の有効活用を図るため、歴史上・学術上価値の高い出土品の展示・公開及び解説会・講演会を開催し、地域住民だけでなく、広く一般県民の歴史や文化に対する理解と認識を深める機会とする。	
3	広報紙の発行	当財団の業務内容や調査成果を広く一般に紹介し、発掘調査や埋蔵文化財が身近なものであることの認識を深めるとともに、これらの重要性についての理解を図るため、広報紙を作成し学校や生涯学習施設などに配布する。 「房総の文化財」Vol.58 A4版 10,000部	
4	年報及び研究連絡誌の刊行	平成29年度事業の内容や成果等を「年報」として刊行する。 また、職員の研究成果を「研究連絡誌」として刊行する。 「研究連絡誌」第80号 A4版 700部	
5	調査・研究用資料の整備	埋蔵文化財発掘調査報告書等、調査・研究用資料の整備を実施する。	
6	ホームページの公開	当財団の業務内容を紹介するとともに、発掘調査の成果をホームページ上で公開する。 また、広報紙「房総の文化財」や「研究連絡誌」などの刊行物や遺跡見学会・展示会・講演会などの行事案内も紹介する。 あわせて、電子メールによる問い合わせも受け付ける。	
7	発掘調査報告書のデジタル化	発掘調査報告書をデジタル化してWeb上で公開する「全国遺跡報告総覧」への登録に向けて、当財団でもデジタル化されていない発掘調査報告書を順次デジタル化する作業を行っていく。	

1-2 労働者派遣事業(収益事業)

番号	区分	事業名	実施時期	事業概要
1	新規	埋蔵文化財発掘調査に伴う 労働者の派遣	契約後から平成31年3月31日まで	県内で行われる埋蔵文化財調査に必要な労働者を派遣することにより、発掘調査の円滑な実施に寄与する。

2 社会教育等支援事業(公益目的事業) 及び 県立施設における利用者サービス事業等(収益事業)

(1)「房総のむら」指定管理業務受託に係る事業

千葉県教育委員会からの指定を受け、房総のむら(千葉県印旛郡栄町龍角寺1028)の管理運営を行う。

ア 契約期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間)

イ 指定管理契約金額 2,062,000千円(税込)

(内訳 H26:412,400千円 H27:412,400千円 H28:412,400千円 H29:412,400千円 H30:412,400千円)

ウ 主な業務内容

(ア) 施設等の管理・運営に関する業務

- a 施設及び設備の保守・管理に関する業務
- b 利用許可及び利用料金の徴収に関する業務
- c 危機管理に関する業務
- d 庶務・経理に関する業務
- e 建造物・考古資料等の国指定・県指定文化財の管理に関する業務
- f 域内に所在する「龍角寺古墳群・岩屋古墳」(国史跡)の管理に関する業務

g その他

(イ) 博物館事業に関すること

- a 資料等の収集・保存及び活用に関する業務
- b 調査研究に関する業務
- c 展示事業に関する業務
- d 体験事業に関する業務
- e 情報提供及び広報に関する業務
- f 県民と協働事業に関する業務
- g 学校等との連携事業に関する業務
- h 地域づくりへの支援事業
- i 国・県の指定文化財の公開・活用に関すること
- j 人材育成に関する業務
- k 学習支援に関する業務
- l その他

(ウ) 自主事業に関すること

- a 体験事業に関する業務((イ)-dに含まれる業務を除く)
- b 展示、教育普及活動、イベント等の事業に関する業務
- c その他

(2)「鴨川青年の家」指定管理業務受託に係る事業

千葉県教育委員会からの指定を受け、鴨川青年の家(千葉県鴨川市太海122-1)の管理運営を行う。

ア 契約期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日(5年間)

イ 指定管理契約金額 511,653,635円(税込)

(内訳 H28:101,765,000円 H29:101,765,454円 H30:101,765,454円 H31:102,707,727円 H32:103,650,000円)

ウ 主な業務内容

(ア) 青年の家の目的を達成するために必要な業務

- a 利用団体の受入れに関する業務
- b 利用団体の活動支援及び助言・指導に関する業務
- c 青少年教育指導者の研修に関する業務

(イ) 施設等の管理・運営に関する業務

- a 施設・設備等の維持管理に関する業務
 - (a) 施設保守管理業務
 - (b) 設備機器の保守管理業務
 - (c) 自家用電気工作物
 - (d) PCB含有機器の保管
 - (e) 備品等管理業務
 - (f) 施設内外の清掃及び整備業務
 - (g) 危機管理業務車両管理業務
 - (h) 宿直業務
 - (i) 廃棄物処理業務
 - (j) 外構・植栽管理業務
 - (k) その他

- b 施設の利用(利用の許可を含む)に関する業務
- c 施設利用料の徴収に関する業務
- d 利用者への食事の提供に関する業務
- e 利用者へのサービスの提供に関する業務
- f その他

(ウ) 主催事業に関する業務

3 千葉県スポーツ振興基金の管理運営事業(公益目的事業)

千葉県スポーツ振興基金の運用益による安定した継続的な財源の下、県内のスポーツ団体等への助成を通じ、千葉県内のスポーツの振興を図る。

事業名	事業概要
千葉県スポーツ振興基金の 管理・運営	<p>本県のスポーツ・レクリエーション振興を図るため、千葉県スポーツ振興基金の管理・運営及び助成事業に関する業務を推進する。</p>
	<p>(1) 平成29年度末 造成見込額 1,232,794 千円</p>
	<p>(2) 平成29年度末 償還差損の解消 運用債券の償還差損を補填するため、新たに「スポーツ振興基金債券償還差損充当資産」(勘定科目)を設け、専用口座に4,533千円を積み立てる。 なお、年1回以上公認会計士の検証を受け当該口座管理の適正を担保する。</p>
	<p>(3) 平成30年度事業計画</p>
	<p>・造成額</p>
	<p> 自動販売機手数料 1,383 千円</p>
	<p> 出走権付き募金 750 千円</p>
	<p> 記念品付き募金(クオカード) 880 千円</p>
	<p> 財団募金箱 1 千円</p>
	<p> 合 計 3,014 千円</p>
	<p>・助成額</p>
	<p> 千葉県体育協会 5,400 千円</p>
	<p> 千葉県レクリエーション協会 1,800 千円</p>
	<p> 千葉県スポーツ推進委員連合会 1,800 千円</p>
	<p> 市町村(27件) 6,200 千円</p>
<p> 千葉県障がい者スポーツ協会 500 千円</p>	
<p> 総合型地域スポーツクラブ(13件) 1,500 千円</p>	
<p> 合 計 17,200 千円</p>	
<p>(4) 会議</p>	
<p> 千葉県スポーツ振興基金募金推進委員会幹事会(年1回・4月)</p>	
<p> 千葉県スポーツ振興基金募金推進委員会(年1回・5月)</p>	
<p> 千葉県スポーツ振興基金審査委員会(年1回・12月)</p>	